

7月30日(金)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ

日刊サマーミュージック

朝刊

Hobo Nikkan Summer Muza



川崎に ウィーンの風が吹き抜けた!

7月28日 N響室内合奏団

妖艶な調べが舞う。鮮やかな見得の切り方もアイコンタクトも客席の喜びとなる。マロこと篠崎史紀と愛すべき楽士たちが奏でたのは、新ウィーン楽派のシェーンベルク、ウェーベルン、バルクが編曲したウィンナ・ワルツで、これはマロと仲間たちがここぞという場面で披

露してきた勝負曲。ミューザ川崎の芳醇な響きと呼応するワルツ・チェーンにあらためて酔った。

いやそうなることは分かっていた(偉そうだ)。今回何に驚いたかと言えば、古き良き時代のウィーンの音楽家が専売特許としていたかぐわしい音色が、今どきのテクニックで再現されたこと(評論家ふうだ)。

「南国のバラ」で早速披露してくれたが、ワルツのリフレインをソット・ヴォーチェで奏で魔境的な浮遊

感を創るなんて、それこそクライスラーやコルンゴルトが大活躍していた1920年代の、しかも記譜されなかったスタイルではないか(見てきたみたいだ)。それをマロたちは涼しい顔で演じた。

音楽の精妙な骨格はもちろん、ユーモアも怖さも浮き彫りにしたマーラーの交響曲第4番(2007年クラウス・ジモン編)もサマーミュージック2021の華(まだ続くけれど)。オペラでの活躍が楽しみな盛田麻央の語り口、管弦打、鍵盤楽器の匠たちに拍手を。 奥田佳道(音楽評論家)



ヴァイオリン:篠崎史紀 ソプラノ:盛田麻央

お客様から

最初は何故にシュトラウスⅡ世と思いましたが、納得のプログラムでした。マーラーの室内楽版、本当に各パート一人で交響曲というのは厳しい挑戦だと思いましたが、さすがN響という演奏でした。アーカイブ配信でも聴きます(60代・おけらまん) / 興味深い企画だった。コロナ禍下のコンサートとしては少人数ながら、ゆっくり上質な音楽を楽しんだ。N響の調べは美しい(60代・教員・yuch) / 企画・演奏ともに大変良かった。本場ウィーンのサロンに潜り込んだかのような、極上で贅沢な午後のひとときでした(50代・会社員・トッポ吹きの平日) / 室内楽編成、しかもマロさんならではの前半に、えっ、この編成で?!の後半。安心と驚きの入り混じる不思議な時間を過ごせました。まさか14人+歌手でマーラー4番が成立するとは!でもちゃんとマーラーでした。びっくり(会社員・ぜぶら)

? 夏音 クイズ vol.8

【質問】東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団からの出題です。去年4月から新しくなった、東京シティ・フィルのトラックは何色でしょうか?



答えは次号! お楽しみに♪

- ①赤 ②青 ③緑 ④金

前回のクイズの 正解発表

7/28出題の「おんがくかるた」クイズ 答えは...②でした!

「どんな指揮者も演奏家も一度は苦戦する?変拍子にまつわるエピソードは尽きません」とのこと。数々の初演を指揮してきた秋山和慶さん。語りつくせぬエピソードがあるのでしょね♪♪♪





《かわさき組曲》

かわさき＝ドレイク・ミュージック アンサンブルプロジェクト 8月9日 東京交響楽団フィナーレコンサートで世界初演

障害のあるなしに関わらず、音楽に親しみ創造性を発揮できる社会の実現を目指す日英共同プロジェクトが「かわさき＝ドレイク・ミュージック アンサンブルプロジェクト」です。

英国のアート団体ドレイク・ミュージックは、25年以上にわたり障害のある人の音楽アクセス拡大を模索、実践してきました。今回はドレイク・ミュージックにトレーニングを受けた日本

の音楽家がファシリテーターとなり、東京交響楽団の楽団員も参加し、川崎市内3つの特別支援学校でのべ20回に及ぶワークショップを重ねて音楽づくりを行いました。

その成果が、《かわさき組曲》として東京交響楽団により世界初演されます。

7月28日に行われた記者説明会には、指揮をする原田慶太楼氏も参加。幼なじみに

障害があったことをきっかけに、どうやったら彼らをサポートできるのかを考え続けているという原田氏。今回のプログラムに込められた熱い思いも語りました。

ワークショップの様や、記者説明会の様子について詳しくは、サマーミュージックのホームページに掲載します。



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki

kawara CAFE&DINING

川崎モアーズ 7F

パートナーショップ特典

ワンドリンク (ソフトドリンク) サービス

※神奈川県 緊急事態宣言発出に伴い、各店舗の営業状況やサービス内容が変更になっている場合がございます。お手数ですが、ご来店前に各店舗にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

からだいたわる、嬉しい和定食

女性や若者に人気のkawara CAFE&DININGは、川崎駅の東口、川崎モアーズ7階にあります。店内は広いソファ席や、ちゃぶ台のお席もあって、お客様はみな寛いで、時間を忘れ、食事を楽しんでいます。

今回いただいたランチは、週替わりkawara和定食のハニーソースとんかつ御膳¥1,000。ご飯に味噌汁、煮物、サラダ、

メイン、小鉢が2つに香物と、トレイに色とりどりのおかずが並びます。数えたら20品目以上もあり、体に良いこと間違いなし。ボリュームも多く、ご飯味噌汁のお代わりも無料、ランチも17時までという嬉しいサービス。サマーミュージック期間中は、優待券で更にドリンク付きに。ぜひ、皆さん素敵な音楽と一緒に、のんびりと時間をお過ごしください。

(企画事業課いお)



週替わりkawara和定食 1000円

サマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>



#サマーミュージックで投稿してください!



Twitter: @summer_muza



Facebook: @kawasaki.sym.hall



Instagram: @muzakawasaki

堪能下さい。
(衣)

「一度ご購入いただいた公演の映像はオンデマンドで8月中は何度でもご覧になれますし、ご友人やご家族の方と同時に上映会をするのも楽しいですね。どうぞ最後の最後まで、じっくりと堪能下さい。」
「『全国民のみなさま、聞いて〜〜〜』が実現しうるこの可能性、素晴らしいわくわくします。」

さて、昨年からの配信も行っているサマーミュージック「生配信」や「生中継」の響きに妙に心が浮き立つのは私だけでしょうか。素敵な音楽による濃厚な時間、心の震えや滾る思いを、全国の方と時を同じくして共にすることができると、全国民のみなさま、聞いて〜〜〜

ほほ
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

皆さま、ごきげんよう。夏、真つ盛りの今日この頃、ミュージックでのさらに熱い演奏をお楽しみいただけています。すてきですか?

スタッフ日記